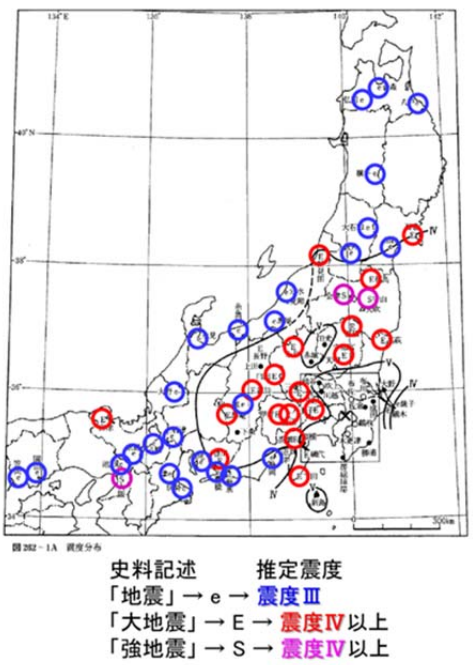
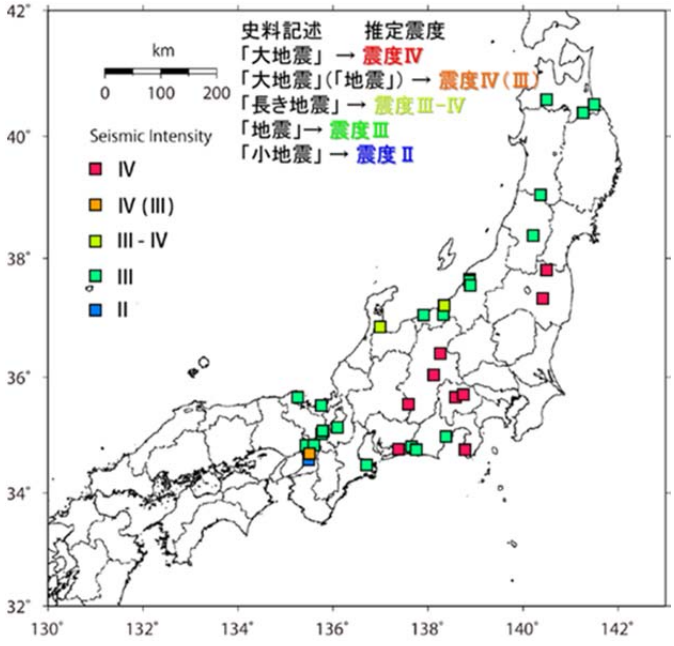
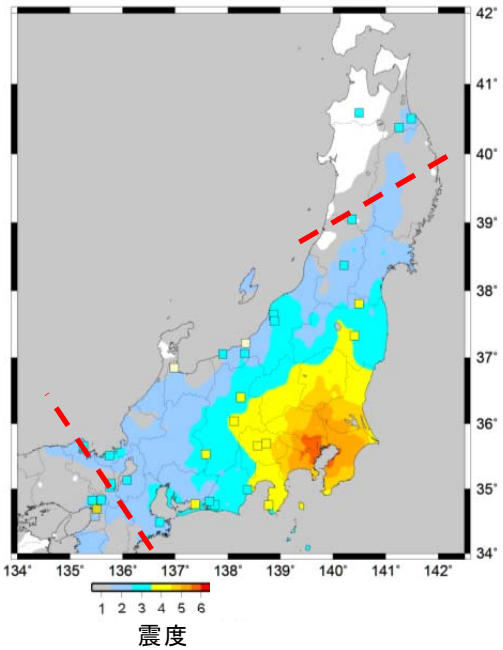
安政江戸地震による広域震度分布とシミュレーションとの比較（3.1.3 参照）

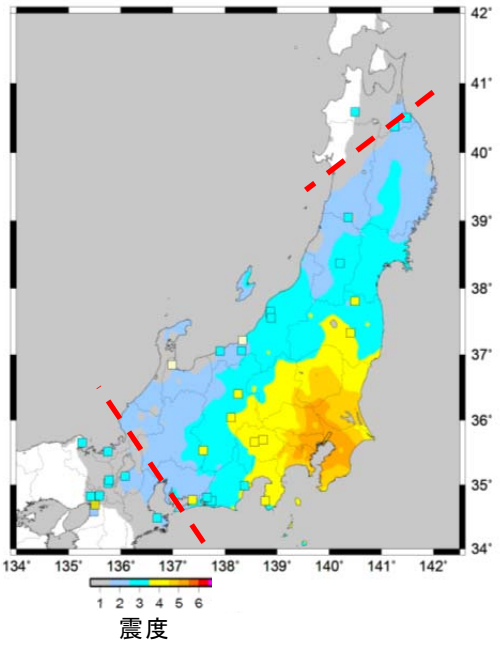




(a)既往研究における遠地での推定震度分布　(b)本課題における遠地での推定震度分布
（宇佐美、2003 に加筆）　（宇佐美、1986 に基づいて震度を推定）

史料の有感記録に基づく遠地での推定震度分布。右図では近畿地方以西には有感記録はみられず、福島県以南から愛知県以東の範囲に「大地震」の記録がみられる。





(c)　フィリピン海プレート内　(d)　太平洋プレート上面付近
（中央防災会議、2013 モデルを参考に設定）　（引田・工藤、2001 モデルを参考に設定）

三次元減衰構造を考慮した広域震度予測の例。左図はフィリピン海プレート内に右図は太平洋プレート上面付近に震源を想定した場合を示す。いずれも比較的遠距離まで有感域となるが前者は西日本に有感域が広がる（赤破線参照）。四角のシンボルは遠地推定震度地点。